COMPANY PROFILE

株式会社 アッシェ

【所在地】高知県高知市新本町2-4-3 blissビル2F
【TEL】088-819-2661 【FAX】088-803-7106
【URL】https://ashe.co.jp
【設立】2005年(平成17年)9月28日
【従業員】18名
【資本金】300万円
【主たる業種】広告業

企業概要　Webサイト・動画制作等のブランディングをはじめ、デジタルマーケティング、DXソリューション、食品ロス削減事業を手掛ける。

代表取締役　須江　勇介

事業類型：特別枠（非対面型ビジネスモデルへの転換）　事業分野：新役務（サービス）の開発

令和元年度 補正 3次

食品ロス削減のための データ共有パッケージの構築

事業計画概要　当社では、2019年2月より、食品ロス削減事業「もぐもぐチャレンジ」に取り組んでいる。同事業は、消費者が楽しみながら食品ロス削減に参加できるプロジェクトである。本事業に、食品ロス削減データの蓄積・共有を可能とするオンラインシステムと専用アプリを構築・導入することで、パッケージの訴求力向上と効率的な運用を可能とする。

事業取組みの経緯

食品ロス削減事業「もぐもぐチャレンジ」は、2018年の恵方巻き大量廃棄問題をきっかけに始まったプロジェクトである。スーパーでは従来、毎朝食品を廃棄してから営業を始めるのが通例で、廃棄・値引きロスは売上の6%を占めるといわれる。また環境への負荷から、近年食品ロスは大きな社会課題にもなっている。

イメージキャラクター「もぐにぃ」

株式会社サニーマートの協力のもとスタートした同事業は、消費期限・賞味期限が近い商品に、当社発案のマスコット「もぐにぃ」を描いた「もぐもぐシール」を貼り、消費者にその商品を先に購入してもらう取組みである。消費者はシールを集め専用の台紙に貼って店舗に提出することで抽選や寄付ができ、楽しみながら参加できる。

一方、企業にとっては食品ロスの削減を通して営業利益の向上が実現できる。また環境負担軽減という点では、社会課題の解決にも貢献できるプロジェクトである。

社会課題解決
お客様に積極的に商品を手前からお取りいただくことで食品の廃棄が減少し環境負担を軽減します。

楽しみながら社会貢献
シール集めを楽しみながら参加していただくことで食品ロス削減につながります。

企業価値向上
お店への愛着・社会貢献で意識が変容し、来店促進を促します。
値引き・廃棄ロスの削減を通し、営業利益の向上を実現します。

同事業は、23都道府県17企業329店舗(2024年10月末現在)で導入されている。全国に販路を拡大できたが、各店舗のシール回収枚数を当社が集計・管理していたため、作業の効率化が課題であった。加えて、廃棄・値引きロスの削減推移や成果など客観的な数値データが不足しており、新規販路開拓の課題となっていた。また当社営業社員が定期的に導入店舗を訪問し、削減ノウハウ等の情報を提供していたが、コロナ禍により店舗訪問が困難となり、遠隔かつ非対面で情報提供を行う仕組みの構築が求められていた。

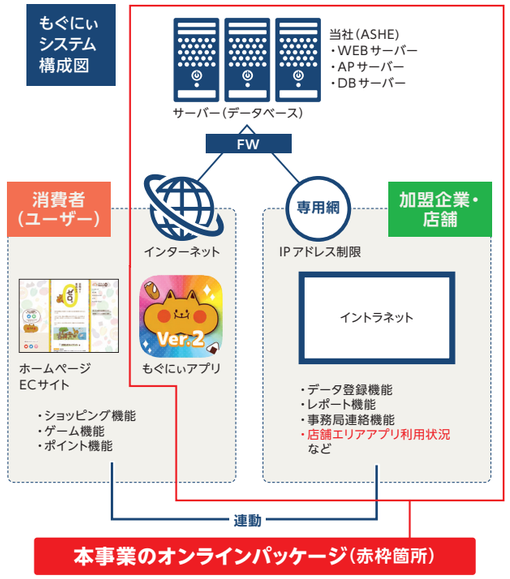
実施内容

オンラインシステムはクラウド型サイトである。加盟企業は管理部署用アカウントで参加店舗を管理し、各店舗は、もぐもぐシールの使用枚数や回収枚数を入力する。

消費者はアプリによって「もぐもぐチャレンジ」に参加できるほか、ホームページやECサイトの閲覧も可能となる。

システム及びアプリの管理は、当社内もぐにぃ事務局にて行う。

●オンラインシステム・アプリの構築・導入



事業取組みの成果

オンラインシステムにより、各店舗がシールの使用枚数、回収枚数、台紙の回収枚数を入力でき、各店舗の活動の推移やシールの回収率が可視化され、当社にとっては、従来行っていた集計作業の負担が軽減された。また、全国および地域特性による企画の効果も測定できるようになっている。加盟企業は、自社の店舗がシールをどの程度貼っているのか、どの程度回収できているのか、店舗ごとのリアルタイムの状況が把握できるようになり、実績が比較できるほか、データ分析も可能となる。また、他社店舗との実績も比較できるため、食品ロス削減に向けスピーディに改善指導が行えるようになった。

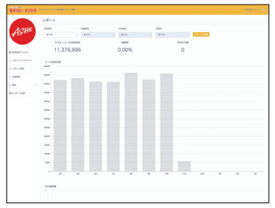
非対面での情報提供という課題については、オンラインで事務局から加盟店舗にデータ提供やグッズ販売等の営業を行うことができ、営業負担が軽減された。

オンライン説明会では、もぐもぐチャレンジをスムーズに進めるためのノウハウも説明している。導入企業が新規店舗を追加する際、事業概要から運用方法などを相談・確認できる環境を準備することにより、当社営業社員が訪問してレクチャーしていた現状を効率化し、今後はさらなる非対面ビジネスモデルへの転換を実現していく。

ノウハウ提供に加え、同システムでは、加盟企業同士が参加できるコミュニティサロンを開設している。サロン活用により、加盟企業は食品ロスの削減率を高めるためのノウハウを共有することができるようになっている。

アプリに関しては、消費者に対し、もぐもぐチャレンジへの取組みを促進できた。消費者はシールを貼った台紙を各店舗のサービスカウンターに持参するとポイント読み取りカードを受け取ることができ、ポイントを貯めるとプレゼントと交換できるほか、アプリを通して抽選に参加すると、選択した寄付先に寄付ができるなど、気軽に社会貢献ができる。さらにミニゲームや店舗からのお得な情報配信等もあり、アプリを通して食品ロス削減問題を身近に感じていただけるようになった。また、もぐもぐチャレンジ全体の活性化と継続性も高めることができた。

製品内容



●システムの管理画面

●もぐにぃアプリ

●もぐにぃグッズ
・かるた
・絵本
・ぬいぐるみ

今後の活動予定・販売計画

オンラインシステムの構築・導入により、食品ロス削減データを蓄積し共有することが可能となった。結果、導入を検討している企業に対して事業の利点を明確に訴求できるようになり、新規販路の開拓をが容易となった。ターゲットユーザーは、日本全国のスーパーマーケットである。市場規模は、企業数が約1000社、店舗数は約2万店、売上は約30兆円である。

2017年全国スーパーマーケット協会資料によると、スーパーでの年間食品廃棄額の推計は5千億円以上である。当社の食品ロス削減事業「もぐもぐチャレンジ」は、口コミで広がるなどして導入店が毎年倍々で増えており、導入企業からは「自分たちで仕組みを1から作らなくてよいので導入しやすい」「消費者の負担がなく、楽しく参加してもらえる」という声が上がっている。また廃棄や値引きに要した費用が大幅に削減できたという店舗もある。今後も導入企業を増やしていき、社会貢献の側面も大きい当事業を存続させていきたい。